

壮行式であいさつする八戸学院光星高の仲井宗基監督(手前)ら=28日、八戸市



# 光星ナイン壮行式

第105回全国高校野球選手権青森大会で優勝し、2年連続12度目の夏の甲子園出場を決めた八戸学院光星ナインが28日、同校で開かれた壮行式に臨んだ。生徒ら約350人を前に、これまでの応援に感謝するとともに、全国の大舞台での活躍を誓った。

(千葉達也)

ユニホーム姿の選手たちが入場すると、生徒らは大きな拍手で迎えた。仲井宗基監督は「やっとなスターラインに立つことができた。昨年は2回戦でサヨナラ負けをしたので、今年はなんとかその悔しさを晴らしたい」とあいさつ。

中澤恒貴主将は「苦しい試合がたくさんあったが、皆さんのおかげで優勝することができた。一つでも多く勝つてきたい」と決意を示した。

在校生を代表し、生徒会長の佐々木凜さん(3年)は「最後まで粘り強く、精いっぱいプレーしてきたほしい」と激励。その後、ベンチ入りメンバー1人1人が「チームに

大会での活動費に役立ててもらおう。この日は、広瀬知明社長が同校を訪れ、中村良寛校長に目録とフラッグ300枚を手渡した。広瀬社長は「2年連続の甲子園出場おめでとうございます。さらなる活躍を期待しています」と激励。これに対し、中村校長は「大切に使用していただきありがとうございます」とお礼を述べた。

(千葉達也)

## 応援フラッグ

## 本紙が寄贈

デーリー東北新聞社は28日、2年連続12度目の夏の甲子園出場を決めた八戸学院光星高野球部に対し、寄付金と応援フラッグを贈った。

フラッグは、同社の社内分社「東北のデザイン社」が製作。本社や本紙販売店などに掲示し、甲子園での活躍を祈願する。寄付金は



中村良寛校長(左)に目録を贈呈する広瀬知明社長=28日、八戸市

八戸学院光星高の甲子園出場を祝い、青い森信用金庫が本店営業部に設置した懸垂幕=28日、八戸市



## 青い森信金が

## 本店に懸垂幕

2年連続で夏の甲子園出場を決めた八戸学院光星高を祝い、青い森信用金庫(益子政士理事長)は28日、八戸市八日町の本店営業部に懸垂幕を設置した。

懸垂幕は縦14・15メートル、横1・37メートル。地域支援室広報担当の白山英憲次長は「八戸を代表し、青森県を代表して頑張ってもらいたい」とエールを送った。(工藤洋平)

が管理する自動車用ガソリン計約180台(3万9780円相当)を複数回にわたり窃取した。盗んだガソリンはアレジャーボートの航行のために私的に利用していたという。第2整備補給隊司令の五十嵐裕一等海佐は「徹底した教育を実施することにより、同種事案の再発防止に努める」とコメントを出した。